

環境省「環境研究総合推進費」

S-13 持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発

H28  
年度

# 公開シンポジウム

参加  
無料

我が国の今後の沿岸海域利用・管理の在り方を検討し、“きれいで、豊かで、賑わいのある持続可能な沿岸海域”を実現するため、環境省環境研究総合推進費による戦略研究プロジェクトが平成26年度から開始されました。

このたび富山市で開催される「G7環境大臣会合」に因み、これまでの2年間の研究で明らかとなった新たな科学的知見や成果をより多くの方々に知っていただくため、公開シンポジウムを開催いたします。

近年、瀬戸内海では魚が少なくなったといわれていますが、過去と現在、瀬戸内海で何が変わったのか？

「森は海の恋人」海と森の繋がりの重要性がいらわれていますが、実際に森は海の環境にどれくらいかわっているのか？

生態系サービス、生態系の経済的価値という言葉が使われますが、環境や生態系をどうやって貨幣価値に換算するのか？

日本海で現在何が起きているのか？  
日本海の生物や環境を守るためには何をすればいいのか？

といった、皆さんが海に関して持っている疑問や、これまで当たり前のようにとらえられていたことに、最新の研究成果でお答えします。

〔日時〕 平成28年5月9日(月) 10:00~16:00

〔場所〕 富山県民会館 304会議室

(富山市新総曲輪4-18)

〔主催〕 環境省「環境研究総合推進費」  
S-13 プロジェクト

(公財)環日本海環境協力センター(NPEC)  
(公財)国際エメックスセンター(EMECS)

〔内容〕

プログラムは裏面をご確認ください。

## 【会場案内:富山県民会館】





## 【プログラム】

### 午前の部(10:00～12:00)

開会あいさつ	鈴木 基之 (NPEC理事長、EMECS会長)
S-13プロジェクトについて	柳 哲雄 (国際エメックスセンター)
瀬戸内海における栄養塩濃度管理法の開発	西嶋 渉 (広島大学)
三陸沿岸海域における沿岸環境管理法の開発	小松 輝久 (東京大学)
生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデル	仲上 健一 (立命館大学)
総合討論	

### 午後の部(13:30～16:00)

日本海の海域管理法の開発	吉田 尚郁 (環日本海環境協力センター)
日本海低次生態系への東シナ海からの影響	森本 昭彦 (愛媛大学)
日本海低次生態系の将来変動予測に向けて	広瀬 直毅 (九州大学)
スルメイカ・ズワイガニへの環境変動の影響	郭 新宇 (愛媛大学)
総合討論	

### 【お問合せ先】

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号  
人と防災未来センター 東館5階

(公財)国際エメックスセンター(担当:四方・大輪)

TEL 078-252-0234 FAX 078-252-0404

E-mail [secret@emecs.or.jp](mailto:secret@emecs.or.jp)

〒930-0856 富山県富山市牛島新町5-5

(公財)環日本海環境協力センター(担当:吉田・永森)

TEL 076-445-1571 FAX 076-445-1581 URL: <http://www.npec.or.jp/>

E-mail [sympo@npec.or.jp](mailto:sympo@npec.or.jp)

参加ご希望の方は、裏面の申込書に必要事項をご記入の上、(公財)環日本海環境協力センターへメール、またはファクシミリでお申込みください。

\* 定員(100名)に達し次第締め切ります。

---

### 環境研究総合推進費 S-13 公開シンポジウム 参加申込書

お名前	所属	役職等	電話	E-mail

申込書送付先: (公財)環日本海環境協力センター

FAX 076-445-1581 E-mail [webmaster@npec.or.jp](mailto:webmaster@npec.or.jp)